

Mckenzie法における 腰痛の評価と分類

リハラボ訪問看護リハビリステーション
理学療法士 古谷 直弘

国際マッケンジー協会認定セラピスト
杉並区 訪問指導員
夜の担当者会議

Robin Mckenzie



Mckenzie法の特徴

Assessment

Classification

Treatment

皆さんが知っているマッケンジーは・・・

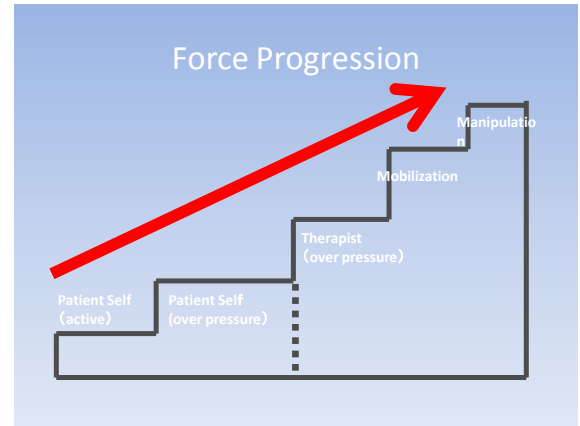
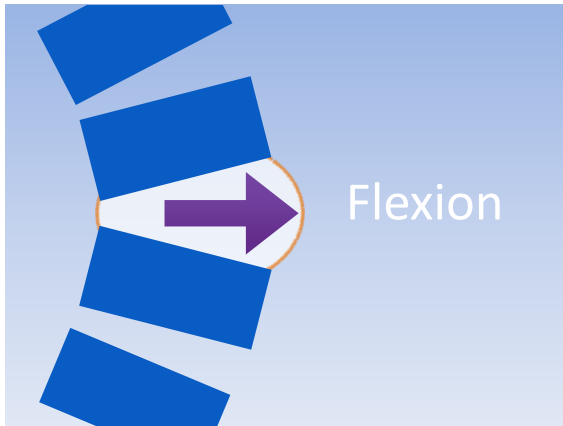


Mckenzie法の特徴

- 姿勢保持や反復運動検査により、対象者の分類わけを行う。
- 分類わけに対する、それぞれのマネジメントに沿ってセルフエクササイズを提供する。

Mckenzie法の特徴

- 四肢の疼痛であっても、原則脊柱のスクリーニングを行う。
- 分類わけの際に得られた運動の種類や負荷をそのまま、セルフエクササイズの指導につなげることが可能。



Force Alternatives

- Sitting ?
- Standing ?
- Lying ?
- Lateral ?
- Constant ?
- Intermittent ?

Mckenzie法における分類

- Derangement Syndrome
- Dysfunction Syndrome
- Posture Syndrome
- Other

Derangementのマネジメント

- Reduction
- Maintenance of Reduction
- Recovery of function
- Prevention of Recurrence

Red Flags

- 馬尾神経障害(膀胱直腸障害など)
- 癌性疼痛
- 骨折
- 脊柱感染
- 強直性脊椎炎
- 骨粗しょう症